

大府かわら版

バックナンバー

テーマ ⑪

平和をまもるとりくみ

年	月	日	No.	テーマ
2019	8	11	1320	市の中学生を平和大使として毎年広島、長崎へ派遣
2019	10	20	1324	大府市平和記念戦没者追悼式に参加して

お招き かわら版



発行：日本共産党
大府市議員
TEL 0562-48-0194
2019年8月11日
No. 1320

「まちづくり」のテーブルでは、農業が盛んな街から自動車産業の街へ変わり、農地が住宅地に、農業用のため池も防災用になり、今、川・池は公園化の工事も始まっている。どう評価していくのか。生ごみ・資源ごみ・粗大ごみなど「3ミ問題も大きな課題になっている。などの意見が出され

「平和」のテーブルでは、戦争を知らないで育った大人や子ども達に戦争の悲惨さや、平和が大事であることをもっと知らせたい。学校での平和教育や市で行っている活動、地域の平和運動に関心を持ってほしい。などの率直な意見とともに、「孫が自衛隊に入隊した。戦地に行かされるのではないかと心配している。」という生々しい報告も出されました。



広島・長崎へ行った中学生の話も聞きたい、という要望も出されました。

「まちづくりカフェ」で
「みんな大団圓」を語る

8月3日(土)市民によりそい希望のもてる大府をつくる会主催の「まちづくりカフェ」が開催されました。

会では、市民によりそう会総会に続き、「平和」「高齢者・年金・介護」「保育・教育・障がい者・文化」「まちづくり(環境・農業・住宅・文化)」の4つのテーブルに分かれ熱心な意見交換が行われました。

ました。

「高齢者等」のテーブルでは

高齢化社会に向けて、運転免許証返納が推奨されているが、それに伴う生活の不安、健康や一人暮らし・年金生活など将来に対する不安を抱えている高齢者が多いことが報告されていました。

また、9月2日から改正される、ふれあいバスについても、市民の声が反映されたことを評価する半面、そもそもバスの台数を増やすことが必要という声が出されていました。

◆会として、「低料金で入所できる特養ホームの建設を求める請願書(案)」が提案され検討されましたが、法律等詳細の検討が必要との意見もあり、引き続き検討していくこととされました。

アンケートには

「みなさんの意見を聞いて、自分だけの悩みでないことを知り楽しかった」「自分の気持ちを出せてよかった」「今の教育現場の大変さを知って驚いた」「障がい者・教育など人権を守る、個人によりそう社会になってほしいと改めて思った」「健康都市宣言がされているが、建前論に終わらないで実績がともなうものにするための運動を進めていきたい」などのアンケートが寄せられていました。

無料法律相談

弁護士が対応します。まずはお電話を。予約が必要です。お急ぎの方別途対応。

開催日 **8月21日(水) 18時～**

●久永かずえ市議

090-1758-3521

●長坂よしのり市政政策委員長

0562-48-0194

大府市は、中学生を対象に毎年、広島や長崎に平和大使として派遣する事業を開催しています。今年は、この体験を発表するため、市民向け体験発表会が開催されました。今年は、10月に行われる大府市平和祈念戦没者追悼式の中で、平和へのメッセージとして発表されるほか、各学校・図書館にも報告書が配本され、より多くの市民の方に知ってもらえるよう改善が図られる予定です。



お招き版

発行：日本共産党
大府市議団
TEL 0562-48-0194
2019年10月20日
No. 1324



全世帯型福祉で

どうなる国民の福祉？

今開かれている臨時国会の安倍総理所信表明で①憲法9条改訂と②全世帯型社会保障制度の実施を示しました。全世帯型社会保障の狙いと本質について報告します。

全世帯型社会保障検討会議

給付減と負担増議論開始

9月20日、安倍首相が議長を務める「全世帯型社会保障検討会議」の初会合を開催。年金、医療、労働、介護など社会保障全般に渡る制度「改革」を検討し、年末に中間報告、来年夏には最終報告をとりまとめるとした。

会議のメンバーは首相の他6人、閣僚、経団連・経済同友会のトップ二人、社会保障審議会会長、労働政策審議会会長で、改悪をけん引する願われ。労働界・介護の現場代表は一人もいない点から、給付減と痛みを押し付ける内容となること

協会けんぽの国庫補助削減、自己負担額（高額療養費）の引き上げなど

◎介護 0・54兆円

介護報酬の削減、利用料の2割負担を導入、施設の食費・居住費の値上げなど

◎年金 4・8兆円

厚生・共済・基礎年金の保険料引き上げ、「特別水準の解消」や「マクロ経済スライド」で削減

◎生活保護 0・16兆円

生活保護費の削減

「全世帯型」社会保障に向けた主な施策の実態

・幼稚園・保育園・高等教育費用の無償化、対象者の一部に所得制限

大府市平和祈念戦没者追悼式に参加して・・・

今年の戦没者追悼式は名称を変え「平和祈念戦没者追悼式」として10月6日開催されました。特に中学生8人が大府市の平和大使として、長崎の原爆資料館や現地での学習などとしてきた体験発表が行われました。

第一部の戦没者追悼式の後、第二部で中学生の発表があり、原爆が投下された長崎では7万4千人、広島は14万人の人が亡くなった。大府市の人口は9万3千人だから、一発の原爆で大府市がなくなるようなことで、恐ろしさを実感した。しかも、被爆した人たちの苦しい様子など悲惨さが実感でき、再びこのような事があってはいけ

ないと感じていました。中学生の報告で印象に残った点は左記の通りです。

・戦争はいやだと声を出すことが平和への近道だ

・原爆の恐ろしさを伝えてゆく

・平和とはどんなものか、一人一人が考えていくべきだ

・戦争は恐ろしく残酷で許しかたい

・今も地球上に核爆弾が1万4千発があると聞き核兵器はなくしてほしい

戦争体験のない人が多くなっている状況のもと、平和・非核について考える機会となる点で、平和大使事業と発表会が設けられたことは良かったと感じました。



・保育の「受け皿」拡大・待機児童先送り、保育基準緩和型や訪込み型を推進

・介護職の待遇改善、

介護報酬で処遇改善に逆行

右記のように安倍政権の全世帯型福祉は若者世代と高齢者世代を分断し福祉の切り捨てを推進しようとするものです。

若い世代も高齢者も安心して暮らし続けられる社会の実現が求められます。「市民と野党の政権構想」の中で協議を開始しましょう。

無料法律相談

弁護士が対応します。まずはお電話を。予約が必要です。お急ぎの方別途対応。

開催日 11月20日(水) 18時～

●久永かずえ市議

090-1758-3521

●長坂よしのり市政策委員長

0562-48-0194